

「非常通信セミナー」を開催しました

九州総合通信局（局長：上原 仁）は、九州地方非常通信協議会及び一般社団法人九州テレコム振興センター（K I A I）との共催により、平成27年5月27日（水）に熊本市のKKRホテル熊本においてセミナーを開催し、78名の参加がありました。

このセミナーは、非常災害時における防災関連情報の伝達と共有の重要性について、理解を深めていただくことを目的として毎年開催しているもので、今回は、総務省重要無線室長及び防災・減災への先進的取組を行われている和歌山県担当者からのご講演を頂きました。

【講演1】

「非常災害時における通信手段の確保」

総務省総合通信基盤局電波部基幹通信課 重要無線室長 柳島 智



【内容】

- ・東日本大震災における津波情報等の伝達状況の結果による、住民への災害情報伝達手段の多様化の必要性
- ・市町村防災行政無線の整備状況及び導入しやすくするための低廉化への取組
- ・災害対策用移動通信機器の備蓄、貸出の取組

【講演2】

「和歌山県の防災・減災対策」

和歌山県総務部危機管理局防災企画課 情報班長 中内 啓文 氏

【内容】

- ・平成23年台風12号災害を教訓とした取り組みの状況
- ・市町村での緊急避難先安全レベルの設定
- ・実践的防災訓練の実施
- ・県職員の災害時市町村支援体制の整備
- ・総合防災情報システムの再構築



※上記セミナー資料については、九州地方非常通信協議会HP

(<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kyushu/link/hijokyo.html>)に掲示しております。

お問い合わせ先：無線通信部陸上課(096-326-7857)